

令和8年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

問 題

次の課題文 A, B を読んで、問 1 と問 2 に答えなさい。

問 1 下線部のような「不可視化」が生じる理由を、「インターセクショナリティ」に触れつつ課題文を踏まえて説明しなさい（400 字以上 500 字以内）。

問 2 課題文では、インターセクショナリティを考慮しなければ現実の経験が歪められてしまったり、見えづらさが生まれることがあると指摘されている。これにふさわしい具体例を挙げて、「重なる」ことで生じてしまう問題について論じなさい。その際、課題文中で取り上げられた黒人女性（アフリカン・アメリカン女性）以外の具体例を挙げなさい（600 字以上 800 字以内）。

課題文 A

非公開

非公開

非公開

土屋葉（編）（2023）。「障害があり女性であること——生活史からみる生きづらさ」 現代書館，218-221 ページ，抜粋・一部改変

課題文 B

非公開

非公開

小川公代 (2025). 「ケアの物語 フランケンシュタインからはじめる」 岩波新書, 143-145
ページ, 抜粋・一部改変

注：

- 1) レイシズム：人種主義。人種を差別し，一方の人種に優越性を認めようとするもの。
- 2) アフリカン・アメリカン：アフリカ系アメリカ人。アフリカにルーツをもつアメリカ人。

令和8年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文試験の出題の意図は、受験生が社会科学を学ぶ上で必要となる、現代社会が抱える課題に対する関心・知識、理解力、分析力、他者への説明能力をどの程度持っているかを見ることである。

問1は、「インターセクショナルリティ」と社会的課題の「不可視化」の関係について、課題文の内容を踏まえて的確に説明することを求めている。これは、本学科のアドミッション・ポリシーである、人間社会や社会科学への深い関心を持ち、大学における人文社会分野の学びの土台となる基礎的な力を有しているかを問う出題である。

問2は、課題文の内容を踏まえた上で、自分自身の考えを論理的に説明することを求めている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、柔軟かつ総合的な思考力を持ち、主体的に社会を分析できるかどうかを問う出題となっている。